

第21回 産学連携によるオフセット商品開発

中部経済産業局では、次代を担う若者の意識啓発や新たな需要の創出を目的に、産学連携によるオフセット商品の開発に取り組んでいます。今般、地元企業と大学・高校との連携により、バッグとドライフルーツの2つのオフセット商品が誕生しましたので、ご紹介します。

1. 愛知学院大学 経営学部 林教授ゼミ × SALLYLABEL 株式会社 『SEPARATE BAG』

シチュエーションに応じて、リュックからポケット部分を取り外し、サコッシュやポーチとして使用できるバッグです。「音楽フェス等に参加する時や旅行時に、荷物保管用と移動用の二つのバッグがほしい」という大学生ならではの視点で生まれました。

企画段階からCO₂排出量を算定し、デザインと環境配慮（CO₂排出量削減）の両方を考慮しながら開発に取り組みました。素材の一部に、廃タイヤチューブや廃シートベルト、廃シート表皮材などの車に関連した未利用資源を活用することで、CO₂排出量を削減し、ユニークさも出しています。削減しきれなかった分については、J-クレジットを活用してカーボン・オフセットする予定です。

SALLYLABEL 株式会社は、「エコロジー」「エシカル」をコンセプトとした服飾製品ブランド“MODECO”を運営する企業で、“価値がなくなってしまった資源を活かすアップサイクル”が特徴です。今回、林教授ゼミに属する大学3年生18人に、3チームに分かれて、それぞれの商品企画案を考えてもらい、SALLYLABEL 株式会社に対して提案するコンペを行いました。学生には、同社及びMODECOブランドの特徴を理解してもらった上で、ターゲット層の設定とそのニーズについて徹底的に考えてもらい、ニーズに応える商品の企画に注力してもらいました。その傍ら、地球温暖化の状況や、J-クレジット制度、カーボン・オフセットについて学んでもらうとともに、CO₂排出量の算定にも取り組んでもらい、排出削減も考慮に入れた商品企画を行ってもらいました。

コンペの結果、見事採用されたのが「SEPARATE BAG」です。学生の企画案を基に、SALLYLABEL 株式会社での商品開発プロセスを経て、現在試作品の製作中です。

2. 愛知県立南陽高校 NanyoCompany 部 × 株式会社エム・ティ 『やわらかドライりんご』

「もだに農園グループで育ったりんごが、自然の甘味そのままに、環境にやさしいドライフルーツになりました。おやつにぴったりんご！」
(by 南陽高校 NanyoCompany 部)

今回、株式会社エム・ティが販売するりんごのドライフルーツについて、南陽高校 NanyoCompany 部と協力してマーケティング・プロモーションを実施しました。商品は、岐阜県のりんごを原料として使い、東海3県の小売りと協力して販売する地産地消の商品です。

株式会社エム・ティは野菜や果物などをカットして主に東海エリアの小売事業者へ販売する流通事業者。これまでも、生鮮出荷できないいちじくやくりぬいた後のパインの芯を使ってドライフルーツとして販売してきました。今回、岐阜県の生鮮出荷できないりんごを使った“やわらかドライりんご”が新たに商品化されました。

発売前には、南陽高校 NanyoCompany 部と試食会で商品評価を実施したり、商品パッケージに入れるキャッチフレーズを検討しました。またカーボン・オフセット商品として販売するため勉強会を行い、海外産原料を使った場合と比較してCO₂排出量がどれだけ削減できているかを計算も行いました。現在、今後のプロモーションツールとして南陽高校 NanyoCompany 部が考えた商品PRの動画を作成しています。高校生ならではの視点でメッセージを伝える楽しい動画となりました。近日公開予定です！

(ソフト支援事業実施機関)

株式会社ウェストボックス

担当：鈴木、小川、山本

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 3-18-1

ナディアパークデザインセンタービル 7階

Tel : 052-265-5902 Fax:052-265-5903

E-mail: info@wastebbox.net

中部Jクレ コラム バックナンバー

<http://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform/column/column.html>